

みさと

議会だより



美郷町議会だより

第21号

平成22年 1月

美郷町議会 第4回定例会報告	2
一般質問 5人が登壇	3
追跡 どうなったの?あの質問... ..	8
美郷町議会議員中央研修会報告	9
住民の声	10

美郷町出初式

新春を飾る
美郷町出初式



美郷町議会 第4回定例会報告



議長
景山 良材

平成21年第4回定例会は12月7日に招集され、会期を5日間の12月11日までとし、条例案1件、予算案7件、一般事件案2件が提案され慎重審議しました。
また、一般質問は10日に行われ、5人の議員が質問台に立ち、町行政について質しました。
最終日の11日には、全議案とも原案のとおり可決して閉会しました。

提案された議案

条例案

◎美郷町大邑地区土地改良財産の管理に関する条例の制定について

※土地改良区の解散に伴い、国から施設用地の贈与を受けるための土地改良財産の管理条例の制定。

予算案

◎平成21年度美郷町一般会計補正予算(第6号)

※歳入歳出それぞれ765万5千円を追加し、総額を107億7863万1千円とする。

◎平成21年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

※歳入歳出それぞれ10万3千円を減額し、総額を1億8684万円とする。

◎平成21年度美郷町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

※歳入歳出それぞれ5万2千円を追加し、総額を2億8417万1千円とする。

◎平成21年度君谷診療所特別会計補正予算(第1号)

※歳入歳出それぞれ36万2千円を追加し、総額を448万8千円とする。

◎平成21年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

※歳入歳出それぞれ12万7千円を減額し、総額を7億7521万円とする。

◎平成21年度美郷町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

※歳入歳出それぞれ92万1千円を追加し、総額を1億4285万5千円とする。

◎平成21年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

※歳入歳出それぞれ3万4千円を減額し、総額を1億7963万7千円とする。

一般事件案

◎財産の取得について(小中学校電気通信機器)

※パソコン、電子黒板、校内LAN等の整備。取得の金額1575万円。

◎財産の取得について(小中学校映像機器)

※移動式台付き地上デジタルテレビ、ビデオカメラ等の購入整備。取得の金額1470万円

請願・陳情

請 願 及 び 陳 情 の 要 旨	審議結果	付託常任委員会
保育所建て替え候補地要望についての請願	継続審議	教育民生常任委員会
公共工事における電気設備工事の分離発注等を求める陳情	趣旨採択	総務常任委員会
県の福祉医療費助成制度の定率(応益)負担を廃止・撤回し定額負担に戻すことを求める意見書採択の陳情	継続審議	教育民生常任委員会
後期高齢者医療制度を廃止し高齢者が安心できる医療制度創設の意見書採択を求める陳情	継続審議	教育民生常任委員会
日米FTA交渉を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書	継続審議	産業建設常任委員会
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情	採 択	総務常任委員会
町道本郷中支線・町道大歳線及び町道三宅線交差個所の改良を求める陳情	採 択	産業建設常任委員会
後期高齢者医療制度をめぐる陳情	趣旨採択	教育民生常任委員会
旧浜原小学校跡地に保育所統合後の設置要望についての陳情	継続審議	教育民生常任委員会
邑智地区保育所統合問題に係る乙原保育所存続についての請願	継続審議	教育民生常任委員会

5人登壇



町長
沖野 健

一般質問

問

① 石見交通の旧赤来線酒谷～赤名間の廃止にともない、代替として6月から運行を始めた沢谷デマンドバスは、折り返し時間の短さ、高速バスとの接続もなく、不便さから沢谷地区連合自治会より利便性向上を求める陳情書が出され、9月議会で採択し地元の要望を聞いた上でダイヤの改正を検討することであったが、ダイヤ改正をどのようにされたのか、また、現在の利用状況について伺う。

② 大和地区では、国土交通省の過疎集落の安心・安定のくらし維持構想策定事業により、11月6日から都賀地区と周辺集落を結ぶデマンドバス・乗り合いタクシーの運行が始まったが、スタートから1ヶ月が経過した現在の利用者数はどのくらいか伺う。



旗根正一 議員

利用の拡大に努力

デマンドバスの利用状況と今後の見通しは

平成21年度 デマンドバス予約受付表

H2
(沢谷交)

N0	受付日	住 所	乗車日	時間	乗降場所		乗車人数
					乗車場所	降車場所	
1	12/9	熊見	12/11	12:15	沢谷交流センター前	赤名	1
2	12/9	石原	12/11	"	"	"	1
3	12/9	千原	12/11	12:15	"	"	1
4	12/9	酒谷	12/11	12:18	森谷	"	1
5	12/9	"	"	12:00	赤名	交流センター前	1
6	"	"	"	"	"	"	1
7	"	"	"	"	"	"	1
8	"	"	"	"	赤名	森谷	1
9	H.22 1/4	広瀬原	1/8	11:00	赤名 04	交流センター前	1
10							

デマンドバス予約状況

定した暮らしができるよう強く要望する。

実験運行が終わる2月以降の見通しについて伺う。

沖野町長

答

① 沢谷地域連合自治会からダイヤの見直しについて要望を受け、高齢者の方々のアンケート結果などをもとに、自治会と協議を重ね新ダイヤを設定して11月23日から運行を始めた。

新ダイヤは、赤名での待機時間を午前の便は40分間、午後の便は30分間とし、午前の便で出かけ午後の便で帰る場合は、赤名での時間が約2時間30分となるため、病院への診察やマッサージなどの時間がかかる用事もすませることができるようにした。

新ダイヤの運行開始からまだ日数も少ないために利用者はゼロの状況であるが今後8名の予約が入っている。

② 大和地域で実験運行しているデマンドバスの利用状況は、1ヶ月間の利用状況で、比之宮地域が4回の運行に対して毎回1名の利用があり、延べ人数で5

名、都賀・長藤地域については2回の利用で延べ4

人、潮・都賀行地域は1回のみの利用で1名の利用があった。

運行から1ヶ月を経過して、利用度を高めるための検討会議を開催し、利用された方への聞き取り調査を実施するとともに、今後の利用者の拡大に向け周知の

チラシ配布を予定している。

③ 邑南町等の例は確かにいいことであるが、利用の増大を図ることががまず根本である。

実験運行後は最終的な運行結果の分析と、利用登録者や利用者のアンケート調査などを行って検討したい。

行政主導によるNPO法人の設置を

側面的な支援を行い持続的発展を推進したい



西原眞性 議員

私の居住している

問

小松地西集落は、昭和60年代は11戸であったが、今日では、4戸となり過疎化・高齢化の波は高まり、独居世帯や空き家の増加、耕作を放棄した農地等

深刻な状況となっている。

町内には同じような集落も多く見受けられる。

一方、地域においては、職場を定年退職され、健康であるときに自分で出来ることを地域社会のために、

何かボランティアでお手伝いしたいとの思いを抱いている方もある。

地域の方々の声を聞く中で要望や問題・課題はさまざまであるが、集落営農組合においては、町から作業場や農機具は貸与を受けただものの、作業に従事する人が病気や高齢になり困っていると、担い手不足を嘆いている団体もある。

国においては、新たな過疎対策のあり方、諸課題について検討がされている最中である。

そうした諸情勢の中で町は、集落支援員、地域おこし協力隊員の設置等新たな取り組みが導入され、配置された地域においては明るい情報で喜びである。

地域おこし協力隊の活動期間は、おおむね1年以上3年以下とされているので協力隊員の方も活動期間後の生活に不安があると言っている。

高齢化した農林業を若い感覚と力でサポートすることとは、地域民は希望と活力が沸いてくるような気がする。

折角の新制度による協力



NPO法人島根有機農業協会事務局

隊の配置であるので、安心して永住できる受け皿づくりと支援が町として必要と考える。

受け皿づくりとして、互助精神による特定非営利団体であるNPO法人は、17の活動が認められており、福祉・教育・文化・まちづくり・地域安全活動等さまざまな分野で多様化したニーズに応える役割を果たすことができる。

NPO法人は、賛同者による民間主導型で活動内容により、それぞれ立ち上げが好ましいが、民間だけでの立ち上げは困難なこともあるので、設立は行政主導型で進めながら民間へ移行していく方法もあると考える。

地域おこし協力隊の受け皿づくりとして、NPO法人の設立について考えを問う。

沖野町長

答

民間非営利部門が行政と企業と並ぶ第3の勢力として成長をし、行政と並んで公益を担う力を持つようになれば、社会の実現に大きく役立つことになり、今、NPOに期待

が集まっている。

設立に当たっては、NPO法人の設立の意義、課題を理解した上で設立することが最も大切であり、設備資金の確保、経営管理や経理、人材の確保、活動場所など多くの課題が想定され

る。

行政としては、明確な目的を持った志しのある方を中心に、民間主導型で進めることが最良の方法であり、側面的な支援を行い、NPO法人の持続的发展を推進したい。

公共交通網(町内バス路線)の見直しを

民間事業者による路線の維持を図るため
利用促進に努めたい



岡先利和 議員

問

石見交通バスの酒谷・赤名線の廃止に続いて都賀・大田線も廃止になるといわれている。残る各路線についても、運行補助金の増加、県の補助対象外路線の増加などにより、将来にわたってこれを維持していくことはたいへん困難になってくるので

はないかと思う。

町営バスを主としたより、利便性の高い路線、時刻表、運賃などを新たに開拓して交通弱者といわれる方だけのためではなく、利益を上げるために通勤客をターゲットにした路線、時間帯なども視野に入れ、効率的な運行をしてもらいたい



答

と思うが、町長はどのような施策を考えているか。

沖野町長

町内を運行しているバス路線は、石見

交通バスの粕淵線、三瓶線、都賀線、大和観光の布施線、備北交通の作木線、町営バスの君谷地域を運行する路線がある。これらの

バス路線は、町内・あるいは近隣の市と結びながら、広域的なネットワークを形成し、通学・通院・買い物等の日常生活の移動手段として利用していただいている。

しかし、少子高齢化・過疎化・邑智高校の統合などにより利用が減少し、民間事業者が運行するバス路線はいずれも赤字路線となっている。

赤字部分の欠損金については、沿線自治体が県の補助金を受けながら赤字を補填し、運行の維持を図っているが、県の補助は一定の利用状況がないと対象路線とならず、年々、補助対象路線が減少し、赤字を補填をする町からの補助金の支出が多くなる状況にある。

町営バスによる利便性の高い路線、時刻表、運賃などにより効率的な運行を行えばとの質問であるが、基本的には町民の皆様への利用を呼びかけながら、民間事業者による路線の維持を図っていききたい。

しかし、民間事業者がやむなく撤退をする路線が出てきた場合には、町民の生

活交通を維持するため、町営バスによる運行も検討しなければならぬが、町営バスの運行を行う場合は、多大な経費が必要と見込まれ、町財政に与える影響は小さくない。

当面は民間事業者によるバス路線の維持を図るため、利用の呼びかけを行いながら利用促進に努めた。

各種補助事業等の事後検証は

報告義務期間後は問題がない限り報告を求めない



西嶋二郎 議員

問 新政権により、各種の事業を見直すための仕分けが447の事業においてなされ、そのほとんどが廃止又は縮減と判断された。結果を含め事業仕分けそのものの賛否両論があり、税金の使い方、使われ方を公に議論されたことは、意味があった。

町政における各種団体及び個人等に国、県、町を問

答 農業の振興を推進するため、国・県補助事業や町単独事業の各種事業を活用して、地域担

沖野町長

わず出された補助金、助成金等に対する事後の検証について、どのような実態か。ソフト事業は報告書の提出等があるが、今回は特にハードの事業についてどうか。



集落営農組合倉庫

手や集落営農組合、任意組合等に対し、施設や機械等の導入助成を行っている。国・県の補助事業は、導入後3年から5年間、計画

目標に対する達成状況や利用状況の報告書の提出が義務づけられており、必要に応じて経営検討会議の開催を行っている。

また町単独の主な事業として、集落営農確立事業により、集落営農組合に対し農機具一式を貸与し、各組織から導入後5年間、実績報告書の提出を義務づけ、内訳としては、「活動実績報告」、「収支決算書」、「貸与機械の稼働実績」となっている。内容に問題があった場合には、県央事務所の農業普及員やJA指導員とも協議を行いながら、各営農組織に指導を実施している。

事後検証については、利用状況や実績報告の提出時に状況を伺ったり、機会を見つけて現地にも出かけている。報告期間を過ぎると、問題がない限り報告を求めない。

町の基幹産業である農林業の振興を推進する上でも、出来るだけ多くの営農組織や担い手農家に、激励なり情報提供や意見交換を行いたい。

経済・雇用対策は

地域資源を活用した雇用創出を模索したい



井下慈海 議員

問 現下の厳しい経済状況を踏まえ、雇用は喫緊の課題である。

安定、地域経済の活性化を

目指した対策を推進する事は喫緊の課題である。

① これまで実施された経

済・雇用対策事業の内容と取組状況及び今後の見通しは。

② 次年度以降、本町独自の取組はあるか。

沖野町長

答 ① 経済対策事業について。

● 地域活性化・緊急安心実現総合対策事業交付金。

平成20年世界同時不況の状況から、1482万7千円交付され、ペレットストーブ、エコカー導入、防災無線の設計を実施した。

● 町単独事業。

平成20年10月30日、道路維持費に2千万円を補正したことは、町内の景気の下支えとなったと自負する。

● 地域活性化・生活対策臨時交付金。

20年度国の第二次補正、2億7327万3千円により、プレミアム商品券をはじめ多くの事業を繰越し、現在も事業実施中である。

● 地域活性化・経済対策臨時交付金。

21年度においての第一次補正、3億4294万

2千円により、景気回復を目指して事業実施中である。

なお、次年度以降の本町独自の取組については、現在計画はないが、国の第二次補正が決定したらずとも取り組みたい。(21年度の第二次補正は、12月8日、7兆2千億円が閣議決定された)

① 雇用対策事業について。
● ふるさと雇用再生特別基金事業。

地域の発展に資すると見込まれる事業で、町内における雇用の機会の創出を図るため三つの事業に取り組んでいる。

(1) 地域資源を活用した振興事業については、受託者「グリーンバイオテック美郷」で事業実施に向けて6名の雇用。

(2) 堆肥散布による耕畜連携強化と有機農業の推進事業については、受託者「おいこ娘生産振興会」で1名の雇用。

(3) 農産物流通システムの構築事業について、受託者「JA島根おち

美郷支所」で3名の雇用。

以上、合計で10名の雇用がある。なお、この事業は平成23年度まで継続される予定である。

産業振興課長

この事業は3年間実施するが、4年先以降にも雇用が続くよう事業者と綿密に連絡を取りながら頑張りたい。

● 緊急雇用創出臨時特別基金事業。

離職を余儀なくされた失業者に対する次の雇用までの最長6ヶ月の雇用を創出する事業において、公共施設環境美化事業で6名、観光総合コイデイナーター育成事業で2名を雇用、今後、公文書保存整理事業で2名の方を雇用する予定である。

引き続き平成22年度、24名分の雇用事業を要望している。

● 無料職業紹介所の開設。

町内の雇用の促進を図るため、10月1日開設した。現在までに、求職者2名の届出を受理。求人情報については、正式な

求人票の受理はなく、ハローワークの情報を活用している。

町内の製造業を中心に企業訪問を行い、現在の経営状況や雇用状況など伺ったところ、少数ではあるが人材を求めている企業もある。再度、今年

度中に企業を訪問して求人情報等を独自に収集し、併せて行政施策としての要望等を伺う。

産業振興課長

最近の経済対策で林業への予算が付き、森林組合では今年から来年4月にかけて、美郷

町で5名雇用する予定と聞いている。

② 次年度以降の取組については、町の地域資源を活用した雇用創出の取組がでないか、労働局との協議を行いながら模索していきたい。



産業振興課内の無料職業紹介所

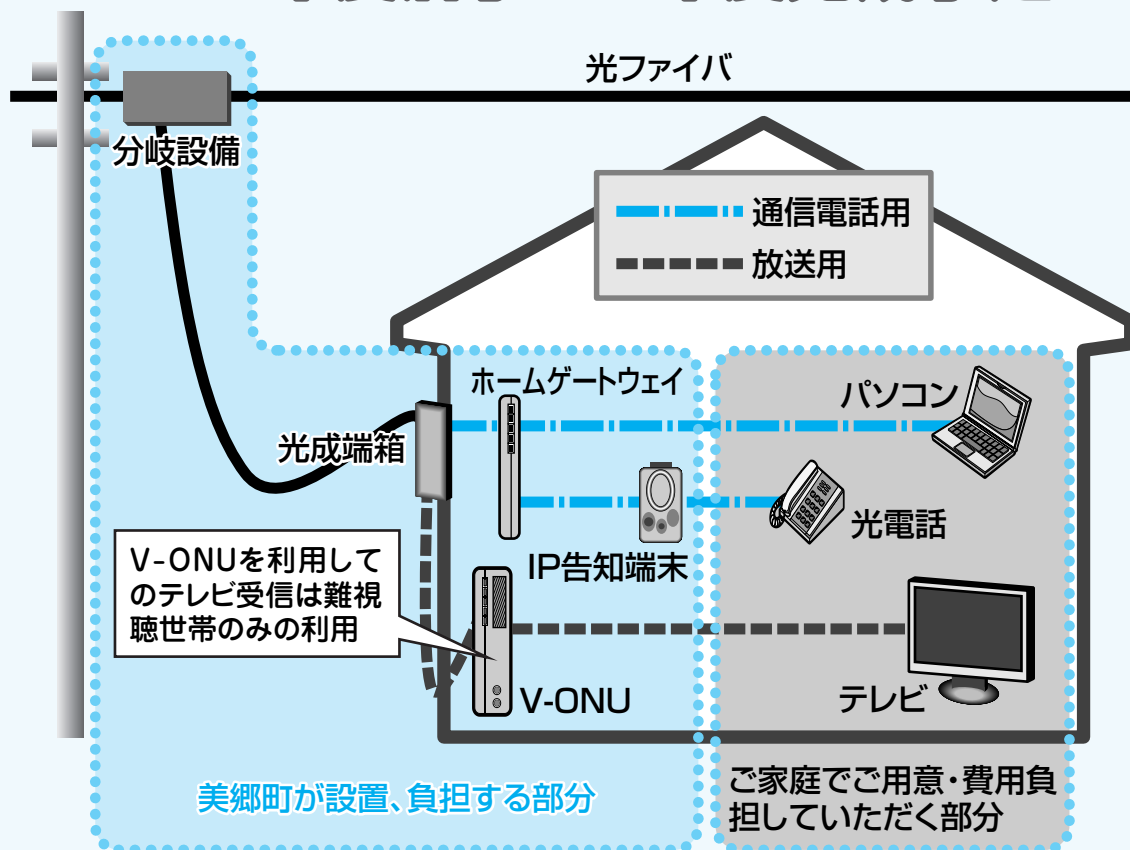
追跡

どうなったの？ あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。

問… 光ファイバー (FTTH) の導入を！

答… 21年度着手 22年度完成予定！



IP告知端末	①行政のお知らせ以外に逝去のお知らせイベントを放送 ②通話無料の町内と町外との自動切り替え機器として利用 ③高齢者などからの緊急通報装置としても利用可能
光電話	①現在利用されている電話番号がそのまま利用可能 ②通話料金は全国一律3分 税込8.4円 ③通常のIP電話とは違い、固定電話と同様の音質を確保
インターネット 接続サービス	①上り下り最大1Gbps (ベストエフォート) ②セキュリティ標準装備 ③動画配信や通信での放送などに対応できるIPv6マルチキャスト通信
テレビ再送信	①地上デジタル放送 (県内5波) の再送信 再送信する放送局はNHK総合・教育、山陰放送・日本海テレビ、山陰中央テレビの地上デジタル波のみです。アナログ放送の再送信はしません

美郷町議会議員中央研修会報告

議会議員では、今年度政権交代で政策や経済対策の方針が変わったため、中央研修会を実施した。

日時 平成21年11月24日
場所 都道府県会館島根

講師 総務省自治行政局
過疎対策室

村上治世 課長補佐
研修 「新過疎法について」説明

過疎地域自立促進特別措置法が21年度で終了するが、切れ目のない対策を実施する予定である。基本的には、現行法を基に機能を高めソフト対策などを充実させ数年延長する。現在（平成21年11月24日）議論は進んでいないが、抜本的な地方財政制度を変えるなら（一括交付金など）山村過疎地の活性化を図るため専任の集落支援員や意欲あ

る都市住民を、地域社会の新たな担い手として、地域おこし協力隊を配置する。

① 過疎法の今後のスケジュールは、

● 過去は、7月に基本方針、秋に指定要件、12月に施策大綱を作成し、1月2月に法制化し、3月に委員長提案をしていた。今後は、12月に方針が出ないと予算が組めない。

② 一括交付金の仕組みの中で、費用対効果などを言われると田舎は大変である。

● 平成23年度から一括交付金と言われているが、制度が決まっているが、制度が決まっている。何らかの指標で配分されると思う。

③ ソフト事業対策として基金積立しかないか。

● 大抵はそうよう



だ、ソフト向けを考えている。

④ 地域おこし協力隊は3年、集落支援員は決まっていらないが継続はどうか。

● 特別交付金が継続されれば、基本的には継続する。

⑤ 今後、国から地方へお金が流れ、自治体間格差

が出てくるが総務省としては。

● 地方分権改革は、一定程度の格差は出る。しかし、セフティラインは必要と思う。これにより地方が考え地域も考えると思う。

日時 平成21年11月24日
場所 衆議院議員会館議員面会室

午後2時～3時30分
議員 衆議院議員民主党小室 議員

意見交換会 「政策・要望に当たっての意見交換」に基づき懇談

① 新過疎法、交付税の総額確保、医療制度改革、子育て支援、福祉施策、公共工事、農業、林業、その他について懇談。

● それぞれの制度については、まだ、国において制度が決まっていないう状況であり、懇談の中では、政権交代が現実的にあったという実感を感じたという意見が多かった。

第6回歳末たすけあいチャリティーショーに「議陰団」として出演、バルーンアートショーを披露しました。



出会いと相性

植田 敏夫

新年明けましておめでと
うございます。皆様方には、
昨年とはどんな一年だった
のでしょうか。

我が家は、昭和38年から
約50年近くこの土地で営業
させて頂いています。これ
も皆様のお陰様だと感謝し
ております。

美郷町は素晴らしい自然
に恵まれ、野菜、果物、米
といずれも最高です。その
上、交通の便も良
くなって生活の面
にも役に立ってい
ます。

少し仕事の話に
なりますが、干し
椎茸と出し昆布を
水に戻し一晩冷蔵
庫に入れて置きま
す。あくる朝しっ
かり水分を含んだ
椎茸と昆布を中火
で1時間煮ます。
そしたら黒々とし
た艶のある姿と

なっています。その後味付
けとなりますが、これが海
と山との出会いであり相性
だと思います。尚、カン
ピョウにしても心をこめて
仕込を致します。こうして
出来上ったカンピョウは、
まるで赤ちゃんの肌のよう
な艶となります。

美郷町は素晴らしい自然
に恵まれ、野菜、果物、米
といずれも最高です。その
上、交通の便も良
くなって生活の面
にも役に立ってい
ます。

美郷町は素晴らしい自然
に恵まれ、野菜、果物、米
といずれも最高です。その
上、交通の便も良
くなって生活の面
にも役に立ってい
ます。



謹
賀
新
年

本年もよろしくお願いいたします
美郷町議会議員一同



編集
後記

政権交代により、我が
町はどうなるのかと不安
を感じておりましたが、
平成21年度経済対策に係
る要望事業については、
なんとか認められそう
で、入札も順調に行なわ
れております。

問題は来年度以降で、
国も税収の落ち込み、赤
字国債の発行ときびしい
財政状況にあります。地
方交付税は増額されそう
ですが、「コンクリート
から人へ」ということ
で、公共事業の削減がい
われております。公共事
業の削減は、町内事業
者、商店、従業者等に多
大な影響が考えられると
ころであります。又、念
願の湯抱パイパスについ
ても心配であります。

地方分権で、町がどこ
まで事業が出来るのか、
我々も、努力したいと思
う。

(佐竹 記)